

総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会小委員会の設置について

分科会等名：次世代再生可能エネルギー導入検討小委員会

1	所属委員会名 複数の場合は、 主体となる委員会に○印を付ける。）	総合工学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>日本の再生可能エネルギー導入量は2016年には一次エネルギーの約8%、総発電量の約15%を占めるに至ったが、この急速な導入は固定価格買取制度に支えられてきた。その買取価格や、電力系統への接続制約の顕在化等により、次の段階の普及のための方策を考えるべき時に至っている。</p> <p>変動する再生可能エネルギーからの電力を受け取るため、電力網側には最大限の広域連系と揚水発電の利用が既に義務付けられているが、更にエネルギー輸送媒体である水素の利用拡大などを進めることが検討課題となっている。</p> <p>大規模な風力や太陽光発電所の場合はコスト低減と共に、出力の貯蔵を含む制御による電力系統運用への寄与が求められる。小規模な場合は、電力や熱の自家消費、自立度向上が新たな目標となる。</p> <p>本小委員会では、新たな段階の施策が求められている再生可能エネルギーの今後の導入について、再エネ水素利用への取り組み、住宅、ビル、工場、自動車などで進むゼロエミッション化に向けた取り組み、これらに必要な技術の進歩、再生可能エネルギー技術自身の進歩等を調査し、有効性とニーズに応じた利用形態を検討する。</p>
4	審議事項	<p>1. 上述の諸技術を取り入れた利用モデルの有効性、実現性、必要な支援策など</p> <p>2. 次世代型の再生可能エネルギー利用社会を提言に係る審議に関すること。</p>
5	設置期間	平成30年6月28日～平成32年9月30日
6	備考	※23期より継続